

## 平成21年度第2回北九州市立図書館協議会 会議録

### 1 会議名

平成21年度第2回北九州市立図書館協議会

### 2 議題（報告）

- (1) 平成22年度図書館事業計画について
- (2) 平成22年度予算について
- (3) 黒崎副都心「文化・交流拠点地区」の整備について
- (4) 図書館の名称について
- (5) その他

### 3 開催日時

平成22年3月19日（金）  
14時00分～15時30分

### 4 開催場所

北九州市立中央図書館館内  
視聴覚センター第2会議室

### 5 出席者氏名

(1) 委員（棚次会長他10名、欠席委員6名、）

元北九州市立大学基盤教育センター情報教育部門長	棚次 奎介
北九州市学校図書館協議会会長	吉田 幸雄
北九州市PTA協議会副会長	安永 扶由美
北九州市婦人団体協議会理事	岡田 黎子
北九州市AVEの会副会長	長谷川 英代
北九州市社会教育委員	服部 多恵子
BUCH北九州 絵本とおはなしの会	高井 眞紀子
北九州児童文化連盟理事	佐山 幸子
北九州市保育所連盟常任委員	中村 尋子
成人読書会「四季」副会長	高畠 登美子
北九州青年会議所	前田 勇人

(2) 事務局（山口中央図書館長他10名）

中央図書館長	山口 保夫
中央図書館副館長	大嶋 明
中央図書館庶務課長	井上 好二
中央図書館奉仕課長	紫垣 教幸
中央図書館庶務課庶務係長	河野 吉彦
中央図書館庶務課資料係長	武谷 潤一郎
中央図書館奉仕課奉仕係長	豊田 善正
視聴覚センター館長	上田 誠
中央図書館庶務課庶務係	山本 清貴
教育委員会生涯学習課長	加藤 賢次
教育委員会生涯学習課図書館建設担当係長	徳間 博郎

## 6 傍聴者

なし

## 7 会議次第

- (1) 中央図書館長挨拶
- (2) 議事(報告、質疑応答)

## 8 会議経過(発言内容要旨)

(1) 平成22年度図書館事業計画について

(事務局)

図書館行事

講演会、講座、おはなし会、成人読書会、親子読書会、図書リサイクル、読書感想文募集、ボランティア養成講座

視聴覚センター

子ども映画会、クラシック・レコード・コンサート、週末映画会、初級ビデオ研修講座、パソコン・ビデオ編集講座、16ミリ映写機操作技術講習会、市民ビデオ撮影・編集講座、初歩からのデジタルカメラ活用講座、手作り影絵作成講座、英会話入門講座を説明。

(委員)

この前に長谷川義史さんの講演があったのですが、これはお話し会に入っているのですか？

(事務局)

わくわく探検事業といって、福岡県から補助金が出ている事業です。その中で北九州市と福岡県が主催・共催という形で行いました。

(委員)

講演会はすごく好評だったので、あのような講演を少しずつ広めていくと、本好きな子が育っていくと思いました。

(事務局)

講演会は参加者が200人で、非常に良かったというアンケートが多く、担当としては良かったという気持ちでいっぱいです。平成22年度から県の補助事業の先行きが見えておりませんので、わかりしだい協議会にご報告しながら話を進めてまいりたいと思います。

(委員)

平成22年度の講演会の講師はまだ決まっていないのですか？

(事務局)

まだ、決まっておりません。昨年の中央図書館が主催の講演会については、2講演ありまして、1つはNHKアナウンサー柴崎行雄さんの「世界を旅して北九州を考える」という講演会と、もう1つは先ほど申しあげました長谷川義史さんの講演です。

(委員)

火野葦平の読書感想文の件ですが、これは北九州市内だけ募集しているのですか？

(事務局)

いいえ。北九州市外からも募集しています。

(2)平成22年度予算について

資料『平成22年度予算』に基づき、

(事務局)

平成22年度予算(図書館)

大里分館整備事業、新・黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業(図書館)、バリアフリー化事業、図書館耐震診断事業、市立図書館施設改

修事業、業、新・返却フリー事業、図書館電算関係運営経費、中央図書館窓口業務等委託、指定管理者制度、図書購入、ブックスタート、図書館管理運営費、図書館複写サービス、各種行事、各種委員会  
平成22年度予算（視聴覚センター）  
視聴覚教材整備費、研修各種行事経費、その他管理運営費を説明。

（委員）

八幡西図書館の蔵書数は40万冊ですか？

（事務局）

30万冊です。

（委員）

本は2年間かけて購入していくということですね。2年目も同じくらい購入する予定ですか？

（事務局）

はい。平成24年度も7月オープンまでの間に若干購入する予定です。

（委員）

他の地区館よりも多いですね。

（事務局）

他の地区館が12万冊～15万冊ですので30万冊になれば、倍ちかくなります。

（委員）

管理運営費の新・返却フリー事業ですが、これはどこの市立図書館でも返せるようにするということですが、事業の具体的な内容は？

（事務局）

まず、借りた館へ返す図書の量が増えるのでそれに伴う運搬経費とそれを仕分けする人件費です。中央図書館の方へ一括して集めて、仕分けをして配送することになります。

(委員)

中央図書館窓口業務が昨年より若干上がっていますね？

(事務局)

委託業務の内容を整理統合した結果このようになりました。

(3) 黒崎副都心「文化・交流拠点地区」の整備について

資料『黒崎副都心「文化・交流拠点地区」の整備』に基づき、

(事務局)

事業地、事業概要、落札者、指定管理者候補、落札金額、PFI 事業者検討会における審査結果、今後の予定、提案イメージ図、提案書の概要(特色)を説明。

(委員)

2階のおはなし室は子どもが何人ぐらい入れるのですか？

(事務局)

面積は20㎡ぐらいになっています。あと交流スペースも併設するようにしています。

(4) 図書館の名称について

資料『新図書館の名称について』に基づき、

(事務局)

条例上の名称

ネーミングライツの検討

を説明。

(委員)

ネーミングライツではなく愛称みたいのを市民から公募すると親しみの持てる図書館の名前が出てくると思います。

(事務局)

図書館は生涯学習施設であり、なかなか難しいところもあると思っています。ホールやスタジアムについては、他都市でネーミングライツを行っているところも多いので、ホールについてはその方向で検討することになると思います。

ただ、ネーミングライツにすると図書館の名称に企業名などが入る可能性があるため、図書館という施設の性格上、議論が分かれると思います。

(委員)

図書館の名称に企業名等が入るのは望ましくないと思いますが、皆さんはいかがでしょう？

(委員)

異議なし。

(委員)

それでは、図書館協議会としてネーミングライツは好ましくないとの結論になりましたので、よろしく願いいたします。

(5) その他

「こどもと母のとしょかん」の愛称について

(事務局)

分館の愛称「こどもと母のとしょかん」は、男女共同参画型社会の観点等から時代にそぐわなくなっているという意見もあります。この愛称について、ご協議をお願いしたいと思います。

(委員)

それでは、次回の協議会で分館の愛称について、協議を行うこととします。